

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果から見える麻生津っ子の姿

福井市麻生津小学校

全国学力・学習状況調査とは、文部科学省が、平成19年度から毎年4月に実施している児童の学力と学習状況の実態を把握する調査です。「学力調査」と「学習状況調査」があり、小学校6年生と、中学3年生を対象に行われています。

本年度の「学力調査」は、基礎知識を問う「A問題」(国語A、算数A)と、知識の活用を問う「B問題」(国語B、算数B)および「理科」からなっています。

県・全国と比べて麻生津っ子のよくできている問題と課題のある問題は、以下の通りです

麻生津っ子のよくできている問題

麻生津っ子の課題のある問題

国語 A

登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題 (正答率77.6%、県74.3%)

中西さんが物語の中から特に心に残った文(主人公の心情を表した情景描写)を選んだ理由を選択肢の中から正しく選ぶ。

物語の中で、登場人物の心情を暗示的に表現している情景描写を取りあげ、主人公の心情と情景描写を比較し、関係を考えさせる指導をしていきます。

相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができるかどうかをみる問題 (正答率53.4%、県61.2%)

「私の母が、()ののですが」の()に入る言葉を選ぶ。
正答(言っていた) 誤答(おっしゃっていた)

普通の教師との会話の中で、敬語を使わせていくように指導していきます。教師が、敬語を使うモデルになり、敬語を使う機会を増やしていきます。

国語 B

話し手の意見を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる問題 (正答率41.4%、県37.2%)

条件【話し合いの様子】の中から、いずれかの意見を取り上げ、自分の考えを80~100字で書く。

話し合いでは、話し手の意図を考えながら聞き、質問ができるように指導しています。また、目的に適した文章を書く機会を設けています。

目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができるかどうかをみる問題 (正答率36.2%、県49.9%)

どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明として適切なものを選択する。

意見文などを書く学習では、説得力を高めるための資料や事例を、本やインターネットから見つけることができるように、指導していきます。また、総合的な学習などでも、資料を用いて考えをまとめる場を設定していきます。

算数 A

針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く問題 (正答率79.3%、県60.9%)

0.4 mの重さが60gの針金があります。
この針金について、次の問題に答えましょう。

(1) 針金0.2mの重さは何gですか。また、針金0.1mの重さは何gですか。それぞれ答えを書きましょう。

授業中、問題に取り組むときには、文章中の数値の単位を確認したり、たずねられていることは何かを確認したりする活動を取り入れています。自分で考えるときに、絵や図をかきよう指導しています。

200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ問題 (正答率37.9%、県53.5%)

ある会場に子どもたちが集まりました。
集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。
小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。
下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

割合の考えを定着させるために、ミニテストや計算音読など、反復練習ができる機会を設けていきます。答えを予想したり、求めた答えを確認したりする方法についても指導していきます。

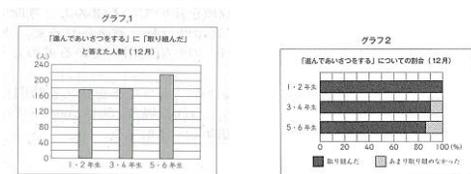
算数 B

横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙が、100枚あれば足りる理由を書く問題 (正答率53.4%、県48.6%)

黒板の横の長さは7mなので700cmです。
黒板のはしからはしまで輪かざりをつけるために必要な輪かざりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

単元ごとに、自分の考えや根拠をノートに書く時間を設けています。学習した算数の言葉を使っているか、条件に合っているかなどを評価して励ましています。

一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取れることをまとめた文章を選ぶ問題 (正答率19.0%、県25.6%)



複数の資料を比較したり関連付けたりする活動を各学年で行うようにしていきます。グラフや表を使ったり利用したりする経験を、他教科や掲示物などを含めて増やしていきます。

理科

腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉をかき問題 (正答率93.1% 県90.1%)

正答「関節(かんせつ)」



流れる水のはたらきによる土地の浸食について、一度に流す水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、理由をかき問題 (正答率22.4% 県23.0%)

正答「水の量を増やすと、みぞの曲がっているところの外側と内側の両方とも棒がたおれたから、外側も内側もけずられる、といえる」

実験や観察をおこなったあと、条件や結果について文章で記述することを重視して、学習のまとめを行っています。

学習状況調査から見える「麻生津っ子」の現状

「学習状況調査」とは、生活習慣や学習環境等に関する調査です。本調査は、6年生の児童や学校の職員対象に継続して行われています。「早寝・早起き」等の生活習慣や、「宿題」「予習・復習」等の学習習慣、国語・算数・理科への関心、「きまりや約束を守る」等の規範意識、「地域の行事に参加する」等の質問に対して、選択肢の中から選んで答えるものです。

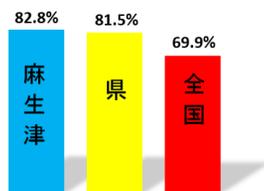
これらの調査結果を踏まえて、児童に確かな学力や生きる力を育成するために、学校や家庭でできることを検証し、学校と保護者、地域が連携しながら取り組んでいきます。



家庭学習での教科書使用

家で、予習、復習やテスト勉強に教科書を使いながら学習している

「家での、自主学習において教科書を使って学習していますか」という質問に「している」と答えた児童の割合は、82.8%で、県や全国と比べて高くなっています。



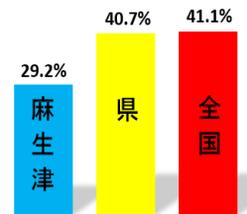
ワンポイントアドバイス

他の質問においても「自分で計画を立てて勉強している」が、75.8%。「算数の問題がわからないときはあきらめずにいろいろな方法を考える」が、84.5%と高くなっていることから、ご家庭での励ましや宿題についての声かけが子どもたちの自主学習の力につながっていると考えられます。これからも、ご家庭で、励ましや声かけなどをお願いします。

読書の時間

学校の授業時間以外に、平日1日当たり30分以上読書をしている割合は、県より11.5%、全国よりも11.9%低くなっています。

平日、授業時間以外に読書時間（30分以上）



ワンポイントアドバイス

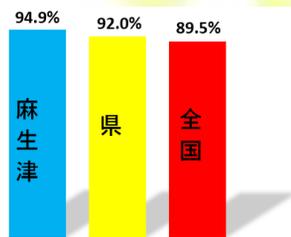
学校では、毎週月曜日の朝15分の読書タイムを行っています。また、図書支援員と協力して「おすすめの20冊」カードをもとに読書の推進や、利用しやすい環境作りを行い、継続して読書の楽しさを味わえるようにしています。昨年度から児童玄関前廊下に新聞を置くことで、新聞にも親しみをもつようになってきました。

ご家庭でも家族で新聞や話題の本などを手に取り、文字に触れる時間をつくれるとよいですね。また、読書月間での親子読書をよい機会ととらえ、親子で是非本に触れ親しんでみてください。

規範意識

学校のきまりを守っている

「学校のきまりを守っていますか」という質問に「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」と答えた児童の合計の割合は94.9%で、県や全国と比べて高くなっています。



ワンポイントアドバイス

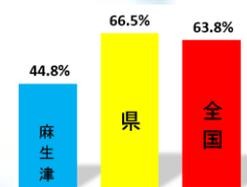
子どもたちに、規範意識が定着してきています。学校では、あいさつや服装を整えるなどの基本的な生活習慣を中心に指導を行っています。

ご家庭でもきまりを守る大切さなどを話し合ってみましょう。おうちでのきまりも一緒に考えてみるのも良いと思います。

地域や社会への関心

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子ども達の割合は、県より21.7%、全国より19.0%低くなっています。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある



ワンポイントアドバイス

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目では全国より18.3%高い結果が見られました。また、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」の項目では、9割の児童が見ているとの返答でした。しかし、その一方で単にニュースやインターネットを見ているだけで、社会や地域への関心となると、実際には薄いようです。今後は、こども新聞を活用したり、校外学習の充実を図ったりして、地域や社会に目を向けさせていきたいと思います。

ご家庭においては、親子で地域のボランティア活動に参加したり、地域や社会のことについて話し合う時間をつくとよいですね。